

アバスチン療法 を受けられる患者さまへ

・抗がん剤は、増え続けるがん細胞を攻撃する作用があります。がん細胞と同時に正常な細胞にも影響を与え、それらが副作用として現れます。副作用は必ず起こるわけではなく、その程度には個人差があります。個々に適切な処置を行い対応します。多くの副作用は治療終了後には回復しますので、正しい知識を身につけ、治療を受けましょう。

[投与スケジュール]

- ・**2週間を1コース**として行います。1日目の点滴時間は2時間程かかります。
- ・アバスチンは初回90分で投与しますが、繰り返していく中で投与速度を短縮することができます。

薬品名	薬の効能	治療スケジュール	
		1日目	2~14日目
アバスチン	抗がん剤	90分 	休

[副作用について]

過敏反応

- ・発疹、かゆみ、気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下などの症状が起こることがあります。気分が悪くなったら病院スタッフに声をかけて下さい。

高血圧

- ・アバスチンの影響で高血圧になることがあります。多くの場合、降圧剤でコントロールすることができます。隨時、血圧を確認しましょう。

出血

- ・アバスチンの影響で鼻血や歯肉、膣などの粘膜から軽度の出血が見られることがあります。鼻からの出血は通常軽く、自然または鼻にティッシュをつめることで止まります。
出血が止まらない場合は病院を受診して下さい。

創傷治癒遅延

- ・大きな手術を受けて間もない方は傷口が治りにくくなることがあるので、注意が必要です。抜歯などでも注意が必要となるので、歯科受診する際は病院スタッフへご相談ください。

血栓症

・アバスチンの影響で血管内に血栓ができやすくなり、深部静脈血栓や肺塞栓症、脳梗塞などがおこることがあります。痺れ、皮膚の変色、むくみ、息苦しさ、動悸、頭痛、意識がもうろうとする、顔や手足の麻痺などの症状が出現した場合は直ちに病院に連絡または受診してください。

- * その他、気になる症状があらわれた際や不安な時は、必ず医師、薬剤師または看護師に遠慮なく声をかけてください。
- * **休日、夜間に調子が悪くなった場合は、救急センターに受診することをお勧めします。その時は、事前に病院に連絡をしてください。**



済生会横浜市東部病院 化学療法センター

☎ 045-576-3000

図：副作用の発現時期

